

# 令和7年度 木とふれあう環境づくり推進事業

令和7年度の助成状況について、一部ご紹介いたします！！

## ◆木造施設等の整備（施設の整備）

### ★紹介1：学童保育施設「学童cocoro」（屋久島町）

#### ●事業主体

社会福祉法人明星会

#### ●助成額

8,099,000円

#### ●木材使用量

26.80m<sup>3</sup>（CLT：6.10m<sup>3</sup>）

#### ●整備の概要

室内から天井を見上げるとCLTが天井仕上材となっており、CLTパネルのメリットである木目を活かした温もりのある空間確保と断熱・遮音などの機能性向上が図られています。

また、内壁には屋久島特有の多雨・高湿度な環境に育まれた「屋久島地杉※」を使用することで、子どもたちがリラックスできる環境を整備しました。

※屋久島地杉とは屋久島に自生する杉を計画的に植林した人工林のこと。「屋久杉」とは異なる。



外観



内観



内観



内観

## ★紹介2：シェア店舗「TOORINIWA」の内装木質化（霧島市）

### ●事業主体

一般社団法人ReAwesomeCity

### ●助成額

899,000円

### ●木材使用量

1.07m<sup>3</sup>

### ●整備の概要

当施設は、鹿児島県の食材を使用した料理やこだわりのモノを販売できるシェア店舗として整備されました。

また、内装は県産スギ材を使用しており、手触りの良い柔らかい質感で、より一層温もりを感じられる空間となりました。



シェア店舗



## ◆木造施設等の整備（製品の設置）

## ★紹介3：木製総合アスレチック遊具・つき山（鹿児島市）

### ●事業主体

学校法人原田学園 幼保連携型認定こども園 こまつばら幼稚園

### ●助成額

4,498,000円

### ●木材使用量

4.99m<sup>3</sup>

### ●整備の概要

設置した遊具は、子どもたちが木と直に触れ合い、ダイナミックに遊ぶことで、感覚機能や運動機能や「心」を育てます。つき山の立体的地形環境が幼児の活動量を高め、バランス能力や筋持久力の向上につながると考えます。

また、遊具の下は日陰となる部分を作成しました。



アスレチック遊具



## ★紹介4：こもれびひろばデッキ、わくわくデッキ等（枕崎市）

### ●事業主体

社会福祉法人立神福祉会 坊津もりのかぜ保育園、立神海の風こども園

### ●助成額

4,049,000円

### ●木材使用量

7.6m<sup>3</sup>

### ●整備の概要

本事業で、2つの園に鹿児島県産材を使用した木製の総合アスレチックや道具を設置し、自然に囲まれた環境の中で、子どもたちがさまざまな体験を通して意欲や主体性、思いやり、たくましさを育み、「生きる力」の基礎を養うことを目的としています。



こもれびひろばデッキ



わくわくデッキ

## ◆木製品の開発及び普及（一般枠）

### ★紹介5：木製スピーカー（鹿児島市）

### ●事業主体

ドリーミィ大和株式会社

### ●助成額

252,000円

### ●開発の概要

鹿児島県産材を活用した木製ウッドスピーカーに、鹿児島を象徴する歴史的人物や自然景観、特産品の意匠を取り入れることで、地域の魅力を発信しつつ、木材の価値とぬくもりを伝える製品を開発・販売することを目的として取り組みました。

また、訪日外国人観光客を中心とした市場に向けて、鹿児島の自然・文化・素材を融合した「鹿児島らしい」お土産商品として販売しています。



木製スピーカー

